

伝統文化を教える 花谷小学校(須磨区)

日本の伝統文化を知ろう。6年生の総合学習に出てくる。校区内には適当な指導者もいないので、グループわに協力要請がありました。三味線、大正琴、いけばな、詩吟をグループわが、お茶、水墨画は同校の先生が担当することになりました。

11月28、29の両日、6年生4組135名がそれぞれ希望の教室に別れて授業を受けましたが、みんな興味深く取組んでいました。中芝校長も「予想以上の成果があり、来年も続けたい」との評価にメンバーの会員たちも気を良くしていました。各グループ代表の話の要旨は次の通り。

全小学校に広めたい 詩吟同好会 小畑 章

私達は日本の伝統文化の継承を願っておりましたとき、花谷小学校から「日本の伝統文化」の学習支援の要請を受け、願ったり叶ったりでお引け受けしました。小学校6年生に「詩吟」を45分間で分ってもらうようにするためには、まだ漢詩や短歌や俳句を学習していないだろうな、キーの高さはどの程度だろうか。等々考えながら綿密な計画を練りました。

学習では「詩吟を聞いたことがあるか」と尋ねたところ、皆さん全く初めてだったようです。難しい講義はやめて、実技主体大声を出して詩吟を楽しく学んで貰える様に心がけました。「あ」の発声競争では20秒以上続ける生徒がいて素質は十分です。

漢詩「偶成：朱熹」をホワイトボード一杯に手作りの譜面を作り、一節ごとに

繰り返し、繰り返し声を出してもらったので、だいぶ声が出せるようになったと思います。

生徒の感想文のほとんどが「詩吟は初めてでしたが、機会があればまた習いたい」とあり、私達も大変遣り甲斐があったと思っています。今回の授業で生徒達に今すぐ詩吟を始めてもらえるとは思いますが、また何かの機会に詩吟に触れた時に、詩吟を思い出して入門願えればありがたいことです。

花谷小学校の校長先生、お世話くださった先生方に厚く感謝申し上げます。さ



いけばなの指導を受ける花谷小の生徒たち

らに須磨区全体、神戸市全体にこうした計画をして頂けたらと願っています。

感性の素晴らしさに驚き 大正琴クラブ 杉山 稔恵

伝統文化の学習支援で、大正琴を花谷小学校の皆さんと共に弾けたことを大変うれしく思っています。初めてお会いした時の子ども達の不安と好奇心に満ちた顔が忘れられません。

45分間の短い時間の中で「ふるさと」「夕焼けこやけ」の2曲を皆さんが弾けるようになり、最後に合唱とともに合奏を楽しく出来て、本当に良かったと感謝しています。孫のような子どもたちの感性のすばらしさと、前向きで明るく元気な姿に、私たちも若さと感動をもらったような気が

しました。

中には大正琴をクリスマスプレゼントに買ってもらいたいから値段を教えてとか、習える教室があるのか、お年玉を貯めて買おうかしらなどという子ども達もいて、びっくりしたり、うれしくなったりでした。

これからも多くの子ども達が、日本の伝統文化を学び伝承してほしいものです。そのお手伝いができたらうれしく思います。

いけばなに興味深く

国11 福井 恵子

6年生のレベルが分らない上に、教える方が慣れていないことでもあり、皆さ

んが興味を持ってくださったかどうかとても恐かったです。歴史を長々と喋ってしまい、退屈だったのではないかと心配でした。

生徒の皆さんの感想文を読ませて頂き、初めていけばなバサミを持って切り、剣山に挿す実技体験に興味を持ってくださった事がよく解りました。「機会があればやってみたい」という言葉にはとても嬉しかったです。

四季折々に違った姿を見せる自然は、日本独特の「いけばな」という文化を発展させてきました。仏様に花を供えることから始まり、いけばなとして表に出てから500年、建築様式や外国との交流などで変化してきました。

外国では日本の花を生かす「空間造形いけばな」に興味があるようです。日本人として日本の文化を知って、伝えて頂きたいと思っています。



花谷小学校6年生からの感想文（一部を紹介）

★ぼくのおじいちゃんの家には三味線がありますが、糸が切れて弾くことが出来ません。今回の学習で三味線のげん（糸）、たいこの部分、板などの素材について学習し、いろいろな種類の音色を聞けてうれしかったです。おじいちゃんの三味線に糸を張って弾いてみたいです。（川田 健太）

★私は初めて大正琴をして、とてもいい思い出になったと思っています。実際に弾いてみると楽しく、日本独特な感じのいい音だなと思いました。「ふるさと」は音楽の授業で歌うので、練習するとだんだん弾けるようになって嬉しかったです。（満井 佳奈子）

★いけばなは、ただ好きな所に花をさすだけだと思っていましたが、どうして水の中にいけるんだろうと思っていましたが、剣山があることや花の位置の三角形があることも知りました。真と副と体、天地人の位置、歴史まで教えていただいてありがとう。（山本 幸穂）

★最初、詩吟は何をするのか知らず、講師の方が15秒以上も声を出しているのにはびっくりしました。ぼくらは15秒が精一杯で、詩吟は声をのばしたり、低くしたり、高くしたりするのは大変でしたが、最後はうまく詩吟ができるようになりました。（大野 由宇）